



日々生きづらさを抱えてひきこもられている方々は全国で推計146万人。

そんなひきこもり当事者や経験者×著名クリエイターで共に「当事者の思い」を伝える作品を制作し、

展示するプロジェクトが「“HIKIKOMORI” ANYONE ?他人事じゃないかも展」。

アートや映像、漫画、VR作品など、様々なジャンルのクリエイターが参加！

2025年2月19日(水)-24日(月)@渋谷n\_space(観覧無料) 11:00-19:00 最終日は17:00まで

### アンバサダー



宮本亞門(演出家・展覧会アンバサダー)

宮本亞門氏がファシリテートする人生ドラマワークショップドキュメンタリー映像上映。  
演出家。2004年には東洋人初の演出家としてオンブロードウェイにて「太平洋序曲」を上演し、同作はトニー賞4部門にノミネート。ミュージカル、ストレートプレイ、オペラ、歌舞伎などジャンルを問わず幅広く作品を手掛ける。

### 参加クリエイター



ヒヤダイン(音楽クリエイター)

「ボカラオHプロジェクト」参加楽曲の中から1曲をヒヤダイン氏が編曲・プロデュース。  
本名は前山田 健一。京都大学を卒業後2007年に本格的な音楽活動を開始。アイドル、J-POPからアニメソング、ゲーム音楽など多方面への楽曲提供。アーティスト、タレントとしても活動。  
※[VOCALOID(ボーカロイド)]および[ボカラ]はヤマハ株式会社の登録商標です。



ひうらさとる(画家)

女性当事者への取材をもとに、ひきこもっていた日々の思いや心の葛藤を、漫画作品に。  
1984年、「あなたと朝まで」でデビュー。2004年「千物女」と称して描いた恋愛コメディ「ホタルノヒカリ」が大ヒット。接觸はるか主演でドラマ化・映画化。2024年、「西園寺さんは家事をしない」がTBSでドラマ化。



せきぐちあいみ(VRアーティスト)

ひきこもり経験者と共にVR体験会を実施し「夢」をテーマにVR作品を制作。  
2016年からVR空間に3Dの絵を描くアーティストとして活動。アート制作やライブペインティングオーディオを世界各国から受ける。ヴェネチア国際映画祭のVR部門、2021年「Forbes Japan 100」に選出される。



夏井いつき(俳人/[おウチde俳句大賞]選者)

「第5回おウチde俳句大賞(朝日出版社)」とのコラボ企画で夏井いつき氏が選出した俳句を展示。  
俳句団「いつき組」組長。創作活動に加え、俳句の授業(句会ライブ)、「俳句甲子園」の創設にも携わるなど幅広く活動中。TBS系「ブレット!!」俳句コーナー出演などテレビドラマでも活躍。



百々新(写真家)

ひきこもり経験をもとにした俳句に合わせ写真を撮影。俳句とともにパネル展示。  
2000年写真集「上海の流儀」日本写真協会新人賞。2013年には写真集「対岸」(赤々舎)で木村伊丹衝写真賞受賞。また2017年河瀬直美監督作品「光」の撮影監督を務めるなど、映像作品も手がける。2024年万博記念公園ポスター「太陽の塔」で日本広告写真家協会アワード最高賞を受賞。



渡辺篤(現代美術家・社会活動家)

リアルタイムで当事者と繋ぐ作品やコロナ禍で孤立した人たちとの共創作品を展示。  
東京藝術大学大学院修了。自身も経験者であるひきこもりや、孤独・孤立当事者たちとの共同企画を展開。横浜文化賞文化・芸術奨励賞(2020)、主な展覧会に「あ、共感とかじゃなくて!」(東京都現代美術館、2023)など。



池平徹兵(現代美術家)

ひきこもり当事者がワークショップで描いた絵をコラージュし大型油彩作品として展示。  
2013年、第16回岡本太郎現代芸術賞入選。オヘラシティアートギャラリー「project NJ」、2017年、VOCA展選出。小学校や福祉施設でのワークショップ形式による作品を発表。2023年パークホテル東京のアーティスチューム制作。



井澤由花子(画家/アーティスト)

当事者をもつご家族と対話をしながらのライブペインティング。映像作品として展示。  
2005年多摩美術大学絵画学科油画専攻卒業。フジテレビCGデザイン職を退社後、様々な表現に携わる。2016年FACE展審査員特別賞/シェル美術賞入選/2019年資生堂パーラーレストラン銀座本店に作品設置。



[n\_space] 東京都渋谷区宇田川町13-9 KNビル1F-3F  
渋谷駅ハチ公前徒歩5分

詳しくはこちらで!



運営:ひきこもりVOICE STATION事務局  
主催:厚生労働省 後援:文部科学省

ひとくらしみらいのために  
**厚生労働省**  
Ministry of Health, Labour and Welfare